

【工業:建築・デザイン科】

平成25年度 指導と評価の年間計画(シラバス)

盛岡工業高校 全日制課程

教科		建築計画	単位数	3	学科・学年	建築・デザイン科2年						
使用教科書		建築計画 実教出版(株)			副教材	建築計画演習ノート 実教出版(株)						
到達目標(具体的な取り組み【評価基準を念頭に置いた指導上の留意点】)						評価の重点						
建築計画に関する基礎的な知識と技術を習得させ、建築物を合理的に計画し、設計する能力と態度を育てるとともに、建築に対する興味や関心をもたせるようにする。 ・実際に簡単な住宅の設計をさせながら身近な住宅に興味を向けさせ、建築計画の基本的な手法を学習させる。 ・計画原論や計画各論に係る諸資料を提示しながら建築に対する興味を持たせ、来来自発的に建築を学ぼうとする力を養う。 ・演習レポート等の提出物の提出率100%を単位習得の最低条件とする。提出の遅延については、その学期内であれば提出を認める。その学期を超えた場合には、原則として受付をしない。						関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解		
学期	月	学習項目 (単元名、教材、学習領域)		主な学習活動・評価のポイント		評価方法						
前期中間	4	第1章 建築計画の概要 1. 建築計画のあらまし 2. 条件の把握 3. 基本計画		・建築計画の意義と進め方の基本的な事項について理解させる。 ・敷地・配置・平面などの各計画に当たっての留意点を把握し、計画の仕方を理解させる。 ・各時代・各地域における建築物の移り変わり、様式、考え方やつくり出された過程などを理解させる。 ・授業への取組状況、意欲的な学習態度とテストによる理解度を評価する。		レポート 小テスト 演習プリント 課題		○	○	○	○	○
	5	第2章 建築の移り変わり 1. 我が国の建築 2. 西洋の建築 4. 現代の建築				前期中間考査		○	○	○	○	○
	6											
前期末	6	第3章 建築物の内外の環境 1. 気候 2. 日照と日射 3. 採光と照明 4. 換気と通風 5. 伝熱と結露 6. 音響 7. 色彩		・建築物と建築物に影響を及ぼす諸要素との関係について理解させる。 ・諸要素と配置計画・平面計画との関連性について理解させる。 ・授業への取組状況、意欲的な学習態度とテストによる理解度を評価する。		レポート 小テスト 演習プリント 課題 前期末考査		○	○	○	○	○
	7							○	○	○	○	○
	8							○	○	○	○	○
	9	第4章 住宅の計画		・住宅における様々な条件に対処した各室の計画方法について理解させる。								
後期中間	9	1. 住宅の意義 2. 全体計画 3. 各部屋の計画		・住宅は、種類や規模によって様々な相違があるが、ここでは標準的な専用住宅の各室の計画について理解させる。 ・住宅の計画が建築設計のもっとも基本的な学習であるから、配置、平面、設備等の全体計画及び、寝室、居間、台所、廊下、便所浴室等の各部の計画も詳しく理解させる ・授業への取組状況、意欲的な学習態度とテストによる理解度を評価する。		レポート 小テスト 演習プリント		○	○	○	○	○
	10					前期中間考査		○	○	○	○	○
	11											
学年末	11	第5章 集合住宅の計画 1. 集合住宅の意義 2. 全体計画 3. 各部の計画		・集合住宅・事務所について、その目的や種類・使われ方・計画上的特質について理解させる。 ・集合住宅・事務所について、敷地・配置・平面などの各計画について理解させる。		レポート 小テスト 演習プリント 課題		○	○	○	○	○
	12	第6章 事務所の計画 1. 事務所の意義 2. 全体計画 3. 各部の計画		・集合住宅・事務所について、敷地・配置・平面などの各計画について理解させる。 ・都市の持つ機能や役割を示し、都市計画や地域計画の重要性・関連性を理解させる。				○	○	○	○	○
	1	第7章 都市と地域の計画 1. 都市計画の概要 2. 都市計画の進め方 3. 住宅地の計画		・都市計画が具体化される過程について理解させる。 ・住宅地における計画単位や都市計画との関わりなどを示し、その計画方法について理解させる。		前期中間考査		○	○	○	○	○
	2	第8章 建築設備の計画 1. 建築設備の概要 2. 給排水・衛生設備 3. 空気調和・換気設備 4. 電気設備		・各設備に関する基本的な事項を示し、これらの計画の方法について理解させる。								
	3	5. 防災設備 6. 搬送設備										